

エネルギーに関する年次報告書(エネルギー白書)

平成19年度(抄)

5月26日 (月曜日) 2008年(平成20年)

ぜんせき
THE ZENSEKI

⑥原油価格高騰の要因別の寄与

○定量分析によれば、2007年の原油価格90ドル/バレルのうち、30ドル以上がプレミアムとの試算もある。

<用語>

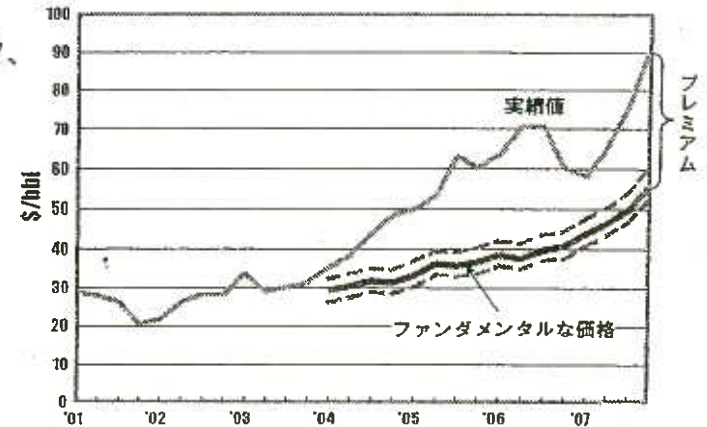
ファンダメンタルな価格

： 需給バランスで決まる価格

プレミアム： 需給バランス以外の地政学的リスク、投資・投機マネー等による部分

<試算結果>

図 ファンダメンタルな価格とプレミアム



出典: 日本エネルギー経済研究所

原油「異常な価格」

北畑経産次官コメント

経済産業省の北畑隆生事務次官は22日の会見で、原油高騰について、「一言でいって異常な価格だ」と思う。基本的な需給で説明できるのは60円まで。オイルサンドなど非在来型石油の開発費用

が50〜60円、サウジアラビアの国家予算想定は45円である。米国のガソリン在庫が予想外に少ないことが130円を超えた要因とされているが、投資資金の流入が主たる原因ではないか。逆張りす

る投機筋の動きが弱いことでもある」と述べた。さらに「とりわけ割り切れないのは、米国の大手金融機関が先ごろ、下期の原油価格について140円を超えるという強気の見通しを出し、その後、それに近い動きになっていること。また、取引量の少ないWTI市場に集中的に投機資金が入り、そこで世界の原油価格が形成されていること」との認識を示した。